

研究に関するご協力をお願い

福島県立医科大学放射線医学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2024年 8月

福島県立医科大学医学部放射線医学講座 伊藤 浩

■ 研究課題名

ドパミントランスポーターシンチグラフィ（DAT-SPECT）における定量解析値と読影評価の関連と相違についての検討

■ 研究期間

2024年8月 ～ 2025年12月

■ 研究の目的・意義

近年ドパミントランスポーターシンチグラフィ（以下 DAT-SPECT）は広く普及し、パーキンソン病、レビー小体型認知症などドパミントランスポーターに異常を来す病気の診断に用いられています。DAT-SPECTにて異常を判断する方法には2種類あります。1つ目が定量解析であり、コンピュータによる自動解析により正常範囲内に入っているかどうかをチェックします。もう1つが視覚的評価であり医師が読影し形態に異常が無いかをチェックします。最終的にはこれら2つの情報を合わせて正常か異常かの判断を行います。

多くの症例で定量解析と十分なトレーニングを受けた医師の視覚判定は一致しますが、中には乖離する症例があります。このような判定が乖離する症例の頻度とその特徴を明らかにすることが本研究の目的です。

■ 研究対象となる方

2020年1月から2021年12月までに当院でDAT-SPECTが撮像された患者さんが対象となります。

■ 研究の方法

本研究は既存情報を利用した後ろ向き観察研究になるため、本研究のためのデータ取得はありません。

先行する別の後ろ向き観察研究(『ドパミントランスポーターシンチグラフィ(DAT-SPECT)における深層学習ネットワークの基礎的検討』, 倫理委員会整理番号 :一般 2021-319)で行われた読影実験結果と、DAT-SPECT の定量解析値を収集します。そして、①医師及び定量解析が共に正常とした画像、②医師が異常とし定量解析が正常とした画像、③医師が正常とし定量解析が異常とした画像、④医師及び定量解析が共に異常とした画像に分類し、その頻度を確認します。続いて、それぞれの群に特徴的な DAT-SPECT の定量解析値や画像所見パターンを検討します。

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2024年9月1日

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学放射線医学講座であり、研究責任者は放射線医学講座 教授 伊藤 浩です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 竹之下誠一 であり、それらの情報は福島県立医科大学放射線医学講座で利用し解析を行います。

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

他の研究機関への情報提供はありません。

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに情報の利用はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

公立大学法人福島県立医科大学医学部放射線医学講座 担当：山國 遼

電話:024-547-1334 FAX: 024-547-3789

e-mail : rad@fmu.ac.jp